道徳教育の全体計画

北海道札幌北高等学校　全日制課程

【北高訓】

寛容　　進取　　良識

学校教育目標	本校で育成を目指す16の資質・能力	
1　相互敬愛の心と豊かな情操を養い、自由と正義を尊び、責任と規律を重んずる態度の育成に努める。	①【知識及び技能】の習得 何を理解しているのか、何ができるのか	○各教科の知識・技能 ○異文化の理解 ○多様性の理解 ○傾聴する技能 ○コミュニケーションの技能 ○情報を扱う技能
2　進取の気風を培い、心身を錬磨し、国際社会の担い手としての人格形成に努める。	②【思考力・判断力・表現力等】の育成 理解していることをどう使うか	○論理的・批判的・創造的思考力 ○課題を発見・解決する力 ○情報を分析・判断する力 ○表現する力
3　真理を探り、高い知性と良識ある判断に基づく公民的教養の向上を図るとともに個性の伸長に努める。	③【 学び合う力・人間性等 】の育成 どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか	○主体的に実践する力 ○自己を理解し管理する力 ○他者を協働する力 ○社会を多角的に見る力 ○責任感 ○健康を保持増進する力

関連法令等

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○高等学校学習指導要領
○北海道、石狩管内教育目標

実態の把握

○地域や学校の実態
○生徒の実態
○札幌北高等学校の歴史と伝統
○社会の要請
○教職員の願い
○保護者や地域の願い

道徳教育の目標(高等学校)

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、(道徳的諸価値の理解を基に、**自分自身の選択基準や判断基準を形成し**)人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によいよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

道徳教育の重点目標

○自立心を高め、規律ある生活をする。
○生命を尊重する心を育てる。
○主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養う。
○差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養う。
○伝統と文化を尊重し、国際社会に生きる自覚を身に付ける。

学校組織

○職員会議
○部長主任会議
○分掌部会
○学年会
○各種委員会　等

道徳教育推進教師

各教科

国語	思考力や想像力を伸ばすこと及び言語感覚を磨くことで、言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	保健体育	様々な運動を通して、粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力する、責任を果たすなどの態度を養う。健康の大切さを知り、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善する。
地理歴史	世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して、多面的・多角的に考察し理解を深めることで、自国・他国の文化を尊重する態度を養う。	芸術	感性を高めることは、美しいものや崇高なものを尊重することに繋がり、芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
公民	社会の諸課題の解決に向けて、合意形成や社会参画を視野に入れながら、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。	外国語	英語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考をしようとする態度を養う。
数学	「数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする」、「粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする」ことを通して、工夫して生活や学習をしようとする態度を養う。	家庭	家庭や地域生活を主体的に創造しようとする態度を育てることで、家族への敬愛の念を深めるとともに、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を養う。
理科	自然と人間とのかかわりについて認識を深め、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。また、観察・実験を通して、科学的に探究する能力と科学的自然観を養う。	情報	情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養うことで、社会で適正な活動を行うための考え方と態度を養う。

各学年の指導の重点目標

1学年	○生きる力を育て、豊かな人間性を養う。 ○基本的生活習慣を身に付けさせ、社会性・協調性を養う。 ・知徳体のバランスのとれた人間性を育成する。 ・自律的生活習慣を確立する。 ・自己有用感を養う。
2学年	○自尊感情を育み、他者に寛容な人間性を養う。 ○自律的生活習慣を確立させる。 ・自己有用感を養う。 ・主体的に学習計画を立案する姿勢を養う。 ・他者との達成感を分かち合う姿勢を養う。
3年生	○変化する社会に対応することができる人物を育成する。 ○社会性の涵養を重視し、人間的な成長を目指す。 ・他者の意見を尊重し、多様な視点から考える姿勢を養う。 ・様々な体験を積むことで広い視野を獲得させる。

特別活動

HR活動	生徒による自発的、自治的な活動により、よりよい人間関係の形成や生活づくりに参画する態度などに関わる道徳性を身に付ける。
生徒会活動	生徒がよりよい学校生活を築くために、問題を見いだし、主体的・協働的に解決していく活動を通して、異年齢による人間関係の形成や、学校生活づくりに参画する態度に関わる道徳性を身に付ける。
学校行事	文化や芸術に親しむ体験を通して、よりよい人間関係の形成、自立的態度、心身の健康、協力、責任、公聴心、勤労、社会奉仕などに関わる道徳性の育成を図る。

総合的な探究の時間

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい学校生活を築こうとする資質・能力の育成を図る。

生徒指導

○良識に従った自治的活動の態度を養う。
○生徒との相互信頼を基に基本的生活習慣の確立を促す。
○学校行事を通して豊かな人間性を養う。
○危機管理能力を高める態度を養う。
・情報モラルの向上　・交通安全の意識の高揚
・いじめ防止や薬物乱用の防止意識の高揚

教育環境の整備

道徳心情を育み、道徳的実践意欲を高めるための環境を整備する。
・校地施設の整理整頓
・自主的活動の環境整備
（White board　BYOD端末　等）

豊かな体験

学校教育全体について、道徳的実践を展開するための豊かな体験活動の場を設定する。特に、傾聴する姿勢、批判的思考力の育成に努める。
・ワールドカフェの活動
・ポスターセッションの活動

家庭・地域等との連携

学校・家庭・地域との連携の機会を設定し道徳教育の充実を図る。
・HPや学年、学級通信における道徳教育に関する取組の紹介
・JICA職員による国際理解の講演会